

FOR 2050

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

今年度4月に着任いたしました竹之内 勝（たけのうち まさる）と申します。校区内の鷺宮小学校で副校長を務めていたこともあり、中野区のふるさとへ帰ってきたという思いから、うれしい気持ちでいっぱいです。

私は、東京での初めてのオリンピック開会式の日、10月10日生まれです。父が、それにちなみ、何事にも勝る人に育ってほしいと願いを込めて「勝」と名付けたそうです。生徒一人ひとりの名前にも、願いが込められています。その願いに向けて、笑顔で生活できる学校づくりをしてまいります。どうぞよろしく申し上げます。

本校は「FOR 2050（フォー ニー・ゼロ・ゴー・ゼロ）」をスローガンに掲げ、教育活動を展開しています。2050年を想像してみてください。約30年後を想像することです。本校の生徒たちは44歳から47歳になっています。まさに、世界を支える中心になっている年齢です。ある予測によれば、2050年には、知識の量や繰り返し行われる作業の量は、コンピューターが人間を超えると言われていています。そのときのために、八中生はどのような力を身に付けておく必要があるのでしょうか。それは、人間にしかできない力を身に付けておくということです。そのためには、答えのないものに対して自分で考え、考えたことを仲間と意見し合い、更により考えへとつなげていく、その積み重ねを繰り返していくのです。本校では、授業をはじめ、朝礼等、様々な場面でそのような取組を進めています。教育目標である「からだをつくる」「心のみがく」「わざを練る」の実現に向けて、教職員が一丸となって取り組んでいます。

保護者の皆様、地域の皆様、全ての皆様、八中生の更なる発展のために、今まで以上のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年4月

中野区立第八中学校長 竹之内 勝